

3回生 必修教科「家庭」授業のシラバス

教科名	技術・家庭	科目名	家庭分野	単位数	17	時間
科目の目標	○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。					
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）	副教材	家庭科ワークノート A 家族・家庭と子供の成長			

1 学習の目標

- (1) より良い家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、知識・技能も身に付け、これからの生活を展望して生活課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。
- (2) 健康・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫する活動を通して、中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の種類と概量、献立作成、食品の選択と調理などに関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、食生活の課題を解決する力を養い、食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 学習の方法

- (1) 予習について
○予め調べてくるなど、課題の提示をする場合もあります。
- (2) 授業について
○教科書、ワークシートを使います。保育実習を実施します。エプロン、三角巾を使用することもあります。
- (3) 復習について
○学習したことを生活に取り入れることで復習になります。

〈学習アドバイス〉

- 定期考査、レポート提出の他に、実習などを行います。
 ○定期考査は、授業や実習で学んだことと授業プリントから主に出题します。
 ○学習した知識と技術を自らの生活に生かすことを重視します。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	家族・家庭や地域の生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決を目指し、これからの生活を展望して工夫し創造している。
③主体的に学習に取り組む態度	衣食住や家族の生活などに関する知識・技能を身に付け、家族や地域の人々と協働して生活を工夫し創造し、主体的に実践しようとしている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期考査	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議				
①知識・技能		○		○	○		○			○					
②思考・判断・表現		○			○	○	○	○		○	○				
③主体的に学習に取り組む態度					○	○	○	○		○	○				

〈担当者からのメッセージ〉

- 実習では実践あるのみ！です。応用力を身につけるために失敗を恐れず、積極的に取り組んでいきましょう。
 ○日常の授業を大切にしましょう。ここでの知識と技術は将来のあなたの生活を支えます！

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	A 家族・家庭生活 1. 幼児の生活と遊び (3)	○幼児の遊びの種類と目的 ○幼児の体の成長、言葉の発達、生活習慣 ○子どもとの関わり	②子どもの成長に関心をもつことができる。 ③子どもに基本的な生活習慣を身につけるための手だてを工夫している。 ①②幼児の発達段階を考慮しながら絵本を制作している。 ①幼児の遊びの種類と意義を理解している。 ①③子どもとの関わり方を理解している。	GW 課題 (絵本製作)	ABDJ
5					
6					
7	2. 幼児とのふれ合い (7)	○幼児との交流 ○絵本の読み聞かせや食事援助 ○子どもの遊びの特徴と発達段階について、園児との交流を通して学ぶ ○保育実習成果発表	③幼児とのふれ合いや交流に関心をもって参加しようとしている。 ③①子どもに正しい食べ方及び着替えの指導を適切におこなおうとしている。 ③①幼児の遊びのうち、自作絵本の読み聞かせを適切に行うことができる。		HIJK
8					
9	B 食生活と自立 1. 地域の食材と食文化 (5)	○郷土料理	③自分の成長を振り返り、ワークシートにまとめようとしている。	期末考查	AEJ
10					
			①③郷土食の調理に関心をもち、調理技術を習得しようとしている。 ①②安全と衛生や作業の能率に留意して、調理できている。 ①食品の調理上の性質や調理の要点について理解している。		ACDL